

《研究課題名》

高齢心不全患者における退院 1 年後の運動継続に関する因子の検討

《研究対象者》

日本循環器理学療法学会レジストリ研究に登録されており、追跡調査が完了している症例を対象とします。運動継続状況がデータから把握できない、研究期間中に必要な情報の取得が困難な場合は除外します。

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療録情報を使って行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（4）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

高齢心不全患者における退院 1 年後の運動継続に関する因子の検討

《研究期間》

滋賀医科大学学長許可日～2030 年 3 月 31 日

《研究責任者》

滋賀医科大学 リハビリテーション部 久野智之

（2）研究の意義、目的について

《意義》

運動継続に関する要因を明らかにすることで、高齢心不全患者の予後改善に資する退院後のサポート体制や介入戦略の構築に寄与することが期待されます。

《目的》

心不全で入院した高齢患者における、退院後 1 年時点での運動継続の有無とそれに関する因子を明らかにすることです。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

本研究では、日本循環器理学療法学会レジストリ研究（慢性心不全患者のフレイル実態調査）に登録され、自宅退院後に 1 年間の死亡・再入院がない患者さんが対象となります。退院後 1 年時点での運動継続の有無とそれに関する因子を明らかにします。既存の患者情報を用いて行う後方視研究です。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

診療録より取得され、日本循環器理学療法学会レジストリ研究（慢性心不全患者のフレイル実態調査）に登録された、基本属性（年齢、性別、BMIなど）、NYHA分類（退院時）、血液検査データ、心エコー所見（LVEF、左房径、収縮・拡張機能指標）、身体機能（握力、歩行速度、SPPB）、認知機能（MMSE）、社会的支援（家族構成、同居・独居、サービス利用の有無）、介護度（要支援・要介護）、退院時FIMスコア、外来心リハビリの有無（通院継続状況）、運動習慣の有無を使用します。

《試料・情報の提供元》

日本循環器理学療法学会（<https://www.jscvpt.com>）info@jscvpt.jspt.or.jp

《試料・情報の提供方法》

日本循環器理学療法学会からのデータは、パスワードが設定されたExcelファイルとしてUSBメモリに保存され、郵送で提供されます。

《試料・情報を利用する者の範囲》

所属 リハビリテーション部 氏名 久野智之

《試料・情報の管理について責任を有する者》

所属 リハビリテーション部 氏名 久野智之

（4）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 リハビリテーション部 久野智之

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2670

メールアドレス：hisano@belle.shiga-med.ac.jp